

Kodama Kazuhisa

児玉 和久

ジーアンドエスエンジニアリング
社長

「地域を守る使命感を持つ若手を育成」

KYUSHU
OKINAWA
TOP
FILE

2019



2019年も引き続き、本格化している九州での災害復旧に対応していくことになるだろう。九州ではこの数年間、熊本地震や九州北部豪雨など、相次いで災害に見舞われたが、建設コンサルタントとして、その対応に奔走する中で痛感したのは、地域を支えるための地場技術者の育成である。

そのため、地場のトップ企業の

責務として、当社は次世代を担う若手技術者の採用と育成に注力しており、「国を守り、国を創る 日本の幹となれ」をスローガンとして、道路や橋梁、下水道、河川などの地域インフラを守るために使命感と気概を持った技術者の育成に取り組んでいる。

併せて、職場環境の整備を進めしており、19年に本社の増改築工

事が完成する。芝生テラスやカフェコーナーなど、リラックスしてアイデアを交わし合う交流エリアを設け、社内の活性化を期待している。

一方、将来有望な事業として森林土木に注目している。農業土木と同様に斜陽となっているが、同業他社とも連携しながら、失われゆく技術の研さんに努め、ビジネスチャンスにつなげたい。

MEMO

- 1969年4月22日生まれ
- 福岡市出身
- 福岡大体育学部卒

大学卒業後、地元建設会社勤務を経て、95年に同社入社。営業部長、常務、専務などを経て2013年1月から現職。学生時代は剣道の強豪校で名選手として腕をならし、何度も全国大会制覇した。座右の銘は「敵は己なり」。武士道に通じる精神を今も大切にしている。